

平成 29 年 11 月 20 日

各 位

株式会社リボミック

(コード番号 : 4591 東証マザーズ)

中分子薬としてのアプタマーの特性と魅力に関する 論文掲載

中分子薬とは、抗体などの高分子医薬品と化学合成品などの低分子医薬品の中間の大きさをもつ医薬品の総称で、核酸医薬やペプチド医薬が該当します。核酸医薬には、当社が開発しているアプタマー医薬の他に、アンチセンス核酸、RNA 干渉を利用する siRNA や microRNA 医薬などが含まれます。

近年、中分子薬に対する関心が高まっています。タンパク質同士の結合 (protein-protein interaction、PPI) は創薬標的の宝庫として広く注目されていますが、従来の低分子医薬品は面積の大きい標的を捉えることができないため、タンパク質同士の結合を阻害する化合物をデザインすることは至難の業でした。しかし、アプタマーや環状ペプチドなどの中分子薬は、タンパク質同士の結合を容易に阻害することが可能で、抗体にはない特性も併せ持つため、PPI 阻害剤としての開発が注目されています。

当社で開発中の複数のアプタマー医薬の特性と魅力について、中分子薬としての視点から取りまとめた当社の総説が、学術専門誌 *BIOCHIMIE* の電子版 (論文題目「Aptamers as therapeutic middle molecules」) に掲載されましたので、お知らせいたします。

上記論文内容の詳細につきましては、以下の Web ページをご参照ください。

(<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0300908417302584?via%3Dihub>)

以上

【本件に関するお問い合わせ先 : 経営企画部 03-3440-3745】

株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。当社の創薬基盤技術である「RiboART システム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・眼疾患・骨疾患を始めとして、広い領域の Unmet Medical Needs (未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ) に対する新薬の提供を目指してまいります。